

54 海外で初の「とちぎ物産フェア」を開催

一月十六日から二十二日までの一週間、香港の沙田(シャータイン)にある西田百貨において、栃木県が海外で初めて「物産フェア」を開催した。

フェア期間中、本県からわざわざ「宇都宮餃子館」の方が来港し、店内に「日本一の餃子」の大看板を掲げて実演販売をしたのだ。



またフェアには「樋山昌一商店」「おぼねや」の漬け物、「パン・アキモト」のパンの缶詰、「石田屋」「九曜堂」のせんべい、「外池酒造」「白相酒造」の日本酒・焼酎をはじめ、JA 佐野産のイチゴ「とちおとめ」、JA しおのや産のナシ「にっこり」、シイタケの農産物も並んだ。

西田百貨のある沙田は、この二十年くらいで急速に発展した居住地である。人口密度は非常に高いが、中所得者層が多く住む地域なので、正直、値段の高い日本の商品は敬遠されるのではないかと危惧(きぐ)を抱いていた。しかし、フェアが開始されると、それは全くの取り越し苦労であることがすぐに分かった。

ギョーザの実演販売が始まると瞬く間に長蛇の列となり、この行列が夜の九時を過ぎても全く減らないという、大変な状態となってしまった。「宇都宮餃子館」の方は、ろくに食事も取れないというありさまだった。

そのようなこともあり、何とフェア開始四日目で餃子が完売、併せて「とちおとめ」も五日目で完売してしまうといううれしい悲鳴に変わったのである。

同じ週の十八日には、とちぎ農産物マーケティング協会主催による「栃木県産農産物等展示商談会」を「香港日本人倶楽部」にて開催した。このような展示商談会も海外では初の試みで、商談会にはデパート・スーパーなどのバイヤーなど二十五社、五十一名の参加者があった。参加されたバイヤーの中には、温泉ナス、ハウレンソウ、カキ菜の見積書をその場で依頼していった方もいたほどだ。

さらに十七日には、九龍(クーロン)の尖沙咀(チムサーチョイ)にあるホテル内の会場で、香港旅行エージェントを対象とした「栃木県観光説明会」も開催した。県内のホテル・旅館などの観光関係者十五人が来港し、説明会ではそれぞれ自ら PR して観光客誘客に努めた。

この期間、栃木県は香港で三つの大きな事業を同時に行うという「熱い一週間」を繰り広げたのである。